

平成 29 年度 日本心臓財団事業計画

1 公益目的事業

I. 助成事業

(1) 個人研究に対する助成事業

1. 第 43 回日本心臓財団研究奨励
奨励金額：1 件 200 万円を 10 件
応募資格：1977 年 4 月 1 日以降に生まれた者
応募受付：平成 29 年 9 月 1 日～10 月 15 日
決定通知：平成 30 年 3 月
2. 第 8 回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励
奨励金額：1 件 100 万円を 3 件
応募資格：基礎研究室に所属の 1977 年 4 月 1 日以降に生まれた者
応募受付：平成 29 年 9 月 1 日～10 月 15 日
決定通知：平成 30 年 3 月
3. 第 8 回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励
奨励金額：100 万円を 1 件
応募資格：女性で 1977 年 4 月 1 日以降に生まれた者
応募受付：平成 29 年 9 月 1 日～10 月 15 日
決定通知：平成 30 年 3 月
4. 第 5 回日本心臓財団拡張型心筋症治療開発研究助成（ほのかちゃん基金）
助成金額：1 件 200 万円を 2 件
応募受付：平成 29 年 9 月 1 日～10 月 15 日
決定通知：平成 30 年 3 月
5. 第 15 回日本心臓財団・アステラス動脈硬化 *Update* 研究助成
助成金額：200 万円を 1 件・100 万円を 2 件・30 万円を 2 件
応募資格：原則として日本国内の臨床教室およびそれに準ずる施設に所属の 1977
年 4 月 1 日以降に生まれた者
応募締切：平成 29 年 5 月 12 日
決定通知：平成 29 年 9 月

(2) 研究者の留学費用に対する助成事業

1. 第 31 回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成
循環器疾患の研究に携わるわが国の研究者が海外の研究機関に留学するため助成
助成金額：1 件 300 万円を標準とし、原則として 10 件
応募資格：1978 年 4 月 1 日以降に生まれた者
応募受付：平成 29 年 10 月 1 日～11 月 30 日
決定通知：平成 30 年 3 月

(3) 学会および研究会に対する助成事業

1. 公募助成

1) PCI Technical Education Course 2017

平成 29 年 6 月

平成 29 年 11 月

世話人 村松俊哉 (済生会横浜市東部病院循環器科部長)

2) TOPIC 2017

平成 29 年 7 月 20 日～22 日 東京・セルリアンタワー東急ホテル

世話人 中村正人 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科教授)

3) その他 (肺塞栓研究会、特発性心室細動研究会、等)

2. 指定助成・共催

1) 第 39 回美甘レクチャー(日本循環器学会特別招聘講演)

平成 30 年 3 月 24 日、第 82 回日本循環器学会学術集会 (会長: 澤芳樹大阪大学
心臓血管外科学教授) にて

2) 第 30 回日本循環器病予防セミナー

平成 29 年 8 月 4 日～8 日

実行委員長 岡村智教 (慶應義塾大学衛生学公衆衛生学教授)

(4) 共同臨床研究等に対する助成事業

1. 虚血性心疾患に関する研究

1) Kumamoto Intervention Conference Study (KICS)

代表 小川久雄 (小川久雄熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学教授)

2) 冠攣縮性狭心症患者に関する後ろ向き全国調査 (冠攣縮研究会)

幹事 下川宏明 (東北大学大学院医学系研究科循環器病態学教授)

3) 職域コホートによる動脈硬化性疾患の原因解明と予防に関する研究(OCCUPATION)

代表 金智隆 (きむ循環器内科医院院長)

4) 動脈硬化性疾患早期発見のための核医学的診断技術の確立とそれらの標準化

代表 福島和人 (国立循環器病研究センター放射線診療部)

2. 虚血性心疾患と脂質低下療法に関する研究

1) Randomized trial for Evaluation in Secondary Prevention Efficacy of Combination Therapy- Stain and Eicosapentaenoic Acid (RESPECT-EPA)

代表 代田浩之 (順天堂大学医学部循環器内科教授)

3. 心房細動に関する研究

1) オフポンプ冠状動脈バイパス術周期におけるランジオロール塩酸塩の心房細動発生抑制に関する臨床試験 (JL-KNIGHT II)

代表 坂本 篤裕 (日本医科大学疼痛制御麻酔学教授)

4. 慢性心不全に関する研究

- 1) 慢性心不全患者に対する薬物治療に関する実態調査
代表 筒井裕之（九州大学大学院医学研究院循環器内科学教授）
- 2) 慢性心不全治療において利尿薬が左室拡張能に及ぼす影響の検討
代表 増山 理（兵庫医科大学内科学循環器内科教授）
- 3) 拡張機能低下型心不全に対するニフェジピン CR の有効性の検討（DEMAND）
代表 筒井裕之（九州大学大学院医学研究院循環器内科学教授）
- 4) 心不全及び肥満者における心筋代謝
代表 泰江弘文（熊本加齢医学研究所所長）
- 5) 高尿酸血症を合併した慢性心不全患者に対するフェブキシostatとアロプリノールの無作為化比較試験
代表 鈴木 聡（福島県立医科大学循環器・血液内科学）
- 6) 収縮能が保持された心不全患者を対象としたトルバプタンの短期及び長期の有用性の検討（ETERNAL）
代表 室原 豊明（名古屋大学大学院循環器内科学教授）

5. 弁膜症に関する研究

- 1) 日本人における石灰化大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究（JASS）
代表 山本一博（鳥取大学医学部病態情報内科学教授）

6. 糖尿病と心血管病に関する研究

- 1) インスリン抵抗性改善による心筋梗塞再発予防に関する大規模薬剤介入試験（PPAR Study）
代表 北風政史（国立循環器病研究センター心臓血管内科部門部長）

7. 血栓症・塞栓症に関する研究

- 1) 肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）予防ガイドライン作成のためのエビデンス収集および解析に関する研究
代表 中村真潮（三重大学大学院医学系研究科臨床血管病解析学教授）

8. 心臓外科治療に関する研究

- 1) 日本心臓血管外科手術データベース（JCVSD）
代表 高本眞一（三井記念病院院長）

9. その他

（5）指定研究等の実施・助成事業

1. 予防医学のための携帯型心電計普及活動
 - 1) 携帯型心電計を用いた疫学的・医学的調査と遠隔医療の推進
 - 2) 家庭用心電計プロジェクト

II. 褒賞事業

1. 第 43 回日本心臓財団佐藤賞
平成 30 年 3 月 24 日、第 82 回日本循環器学会学術集会（会長：澤芳樹大阪大学心臓血管外科学教授）にて贈呈
2. 第 42 回日本心臓財団草野賞
平成 30 年 3 月 15 日、第 43 回日本脳卒中学会総会（会長：鈴木倫保山口大学脳神経外科教授）にて贈呈
3. 第 32 回日本心臓財団予防賞
平成 29 年 6 月 16 日、第 53 回日本循環器病予防学会総会（会長：上嶋健治京都大学臨床研究総合センターEBM 推進部教授）にて贈呈
4. 第 13 回日本心臓財団小林太刀夫賞
平成 29 年 6 月 16 日、第 53 回日本循環器病予防学会総会（会長：上嶋健治京都大学臨床研究総合センターEBM 推進部教授）にて贈呈
5. 第 22 回日本不整脈心電学会学術奨励賞
平成 29 年 9 月 14 日、第 64 回日本不整脈心電学会学術集会（会長：平尾見三東京医科歯科大学不整脈センター教授）にて贈呈
6. 第 3 回日本心臓財団・フィリップス・心不全陽圧治療研究奨励賞
平成 30 年 2 月、第 12 回心不全陽圧治療研究会（代表世話人：百村伸一自治医科大学さいたま医療センター長）にて贈呈
7. 第 6 回「心臓」賞
平成 30 年 3 月 24 日、第 82 回日本循環器学会学術集会（会長：澤芳樹大阪大学心臓血管外科学教授）にて贈呈

III. 広報啓発事業

1. インターネット「心臓財団のホームページ」関連啓発活動
1) 一般向けにはセカンドオピニオン（メールによる無料医療相談）をはじめ心臓血管病に関する正しい知識の普及、講演会・健康イベントの案内を、医師・研究者向けには循環器最新情報、研究助成の募集案内等医学関連情報を提供。
ホームページアドレスは、<http://www.jhf.or.jp/>
2. 日本循環器学会・日本循環器病予防学会との協力事業
市民公開講座の開催（共催：日本循環器学会・日本循環器病予防学会）
3. 予防啓発小冊子の発行
4. 「ハートの日」活動
1) 健康ハートの日
・東京にて血圧、動脈硬化度、体脂肪等の測定と健康相談
・豊橋・名古屋・岐阜・京都
講演会、血圧・体脂肪の測定、血液・心電図検査、心臓病・歯周病・食事・

栄養相談、運動指導、救急蘇生法の講習

- 2) ハートレシピプロジェクト in 秋田（地方の特産物を使用した健康メニューの開発、
発表：エドワーズライフサイエンス社との共同プロジェクト）
5. 禁煙推進活動
禁煙推進学術ネットワークを中心に活動
6. AED・心肺蘇生普及活動
AED・胸骨圧迫による心肺蘇生法の普及啓発活動
・PUSH プロジェクト
・企業への講習会実施等の普及啓発活動
7. 日本心臓財団メディアワークショップの開催
メディアに心臓血管病に関する最新的话题を提供し、そのメディアから一般市民
に対して正しい情報を伝えてもらう
8. 患者団体・予防活動団体への協力
日本心臓ペースメーカー友の会、全国心臓病の子どもを守る会、川崎病の子供をも
つ親の会等事業への協力
9. 日本川崎病研究センター事業への協力
10. 月刊誌「心臓」の発行（日本循環器学会との共同発行）
山口徹常任理事を編集委員長に編集委員会を組織
投稿論文を中心に発行
弁膜症特別号の制作・発行（エドワーズ基金）
11. 機関紙の発行
心臓財団季報として年4回発行
12. その他の啓発活動
AC ジャパンを活用した弁膜症による心不全予防キャンペーン

2 収益事業

1. 学会事務局管理受託事業

日本脈管学会、日本血管外科学会、日本静脈学会の三学会共同事務局の管理業務を受託。
学会事務局を財団事務局内に置き、適切な運営管理を行う（人件費を含む実務経費は学会
が支払い、財団は管理のみ行う）